



## 祝 卒業おめでとうございます

3月1日(木)に、本校体育館にて「第54回卒業証書授与式」が挙行され、39名の卒業生が旅立っていきました。朝方は雨でしたが、卒業生の前途を祝福しているように卒業式が終わる頃には晴れ間も差し込んでいました。式の中では、卒業生たちは高校3年間での成長を十分感じさせてくれるような、堂々とした入退場の姿や潑刺とした呼名への返事を見せてくれました。

当日ご臨席いただいた来賓の方々、保護者の皆様、誠にありがとうございました。これからの卒業生たちの未来が輝かしいものになることを祈っております。



卒業証書授与の様子です  
卒業生代表 佐藤奈菜さん



現生徒会長(新国潤平さん)  
による送辞



凛々しく整列しています

卒業生代表(五十嵐夏希さん)  
による答辞



涙をこらえて式歌を歌います



# 表彰式・同窓会入会式

2月28日(水)に、本校表彰規程に準じて、卒業生表彰、3学年 Camellia Snow Award 表彰を行いました。卒業生表彰は3年間の学業、出席の状況が優秀であった生徒、及び生徒会活動において功労があった生徒に贈られます。Camellia Snow Award は今年度の学習・生活面での優良者に対する表彰です。受賞者の皆さんの本校における素晴らしい努力と功績に改めて敬意を表したいと思います。

また、表彰式の後には同窓会入会式も行われました。今後は同窓生として、後輩への良きアドバイスとサポートはもちろん、母校のさらなる発展のために力をかけてください。



只見町ブックスハートプレゼント事業  
※只見町より、卒業生一人一人に本をプレゼントしていただきました。

同窓会入会式 新入会員誓いの言葉



雪椿会より記念品が贈呈されました。

## 出張 学校紹介

3月5日(月)に只見中学校にて、本校2年生が只見中学校の2年生にむけて、只見高校の魅力を伝えるべく、学校紹介を行いました。生徒たちは、中学生の視点に立ち、班ごとに部活動や高校行事、高校生活について、中学生の心に響くように伝え方を工夫しました。当日はポスターセッション、プレゼンテーションソフトを利用した発表、身体表現を用いた発表などを行いました。生徒たちは表現方法を工夫することの難しさに直面しましたが、多様な情報の提示方法を知り、表現方法の重要性について学びました。中学生には只見高校の特徴や楽しさが伝わり、興味をもってもらえたのではないかと思います。



発表後、中学生からの質問に答える様子



プレゼンテーションソフトを用いて、学校行事について発表しました。

私たちはポスター発表をしました。題材を選ぶ上で中学生が新しい発見ができるように情報を提示することは重要であり、情報の提示のしかたを工夫することにとっても苦労しました。班員で協力し、限られた時間の中でしたが、中学生に少しでも只見高校の魅力を発信できるような発表ができたと思います。

(2年1組 橋本 昂典)

# 平成29年度年度末 学校評価アンケート結果

福島県立只見高等学校



12月に生徒、保護者、教員を対象とした今年度の学校評価アンケートを実施しました。その結果をお知らせいたします。  
(アンケート回収率：生徒100%、保護者70.6%、教員100%)

## 1 アンケート項目および評価方法

以下の4つの大項目の中に各5～6の小項目を設け、4段階(A～D)※で評価しました。

- I 学力および授業の質の向上(教員の授業の工夫、生徒の家庭学習等に関して)
- II 進路目標の実現(進路目標、情報提供、進路指導等に関して)
- III 生徒指導および部活動(服装・頭髪、言葉遣い、部活動等に関して)
- IV その他(整理整頓、生徒の学校生活等に関して)

※  
A:「はい」  
B:どちらかといえば「はい」  
C:どちらかといえば「いいえ」  
D:「いいえ」



## 2 アンケート結果

※達成度=評価Aを90%,Bを70%,Cを30%,Dを10%として評価者数で平均した値

### (1) 各評価者からみた平均達成度(昨年度)

	生徒	保護者	教員
	70.2%(68.5%)	71.5%(71.6%)	63.9%(70.9%)

### (2) 各評価者からみた高い評価(各3項目)

	順位	項目	達成度	順位		
				生	保	教
生徒	1	あなたの服装・頭髪は清潔できちんとしていますか。	82.1	1	2	14
	2	あなたは部活動等に積極的に取り組んでいますか。(～いましたか。)	79.3	2	1	14
	3	あなたの言葉遣いや礼儀はきちんとしていますか。	76.6	3	8	21
保護者	1	あなたのお子さんは部活動等に積極的に取り組んでいますか。(～いましたか。)	83.5	2	1	14
	2	あなたのお子さんの服装・頭髪は清潔できちんとしていますか。	79.5	1	2	14
	3	あなたのお子さんは本校に学んで、人間として成長していると思いますか。	78.5	13	3	5
教員	1	生徒・保護者から提出された書類(申請)や徴収金の受付処理及び管理を適正に行っていますか。	82.9	5	6	1
	2	わかる授業をするための工夫をしていますか。	77.1	6	9	2
	3	評価は能力・態度・意欲等の総合評価になっていますか。	75.9	10	10	3

### (3) 各評価者からみた低い評価(各3項目)

	順位	項目	達成度	順位		
				生	保	教
生徒	22	あなたは学力の向上に向けて、計画的に家庭学習を行っていますか。	57.9	22	22	22
	21	あなたは本校に入学して良かったと思いますか。	60.2	21	4	9
	20	あなたにとって課題(宿題)の量や質は適切ですか	61.5	20	12	12
保護者	22	あなたのお子さんは、学力向上に向けて計画的に家庭学習を行っていますか。	57.8	22	22	22
	21	あなたのお子さんは進路実現に向けて、補習や個別指導に積極的に参加していますか。	64.5	19	21	19
	20	学校からの進路に関する情報提供は適切だと思いますか。	65.7	7	20	14
教員	22	生徒は計画的な家庭学習を行っていると思いますか。	30.0	22	22	22
	21	生徒の言葉遣いや礼儀はきちんとしていますか。	41.8	3	8	21
	20	生徒の進路目標は明確になっていると思いますか。	42.9	9	11	20

## 3 アンケート結果の分析

### I 学力および授業の質の向上(教員の授業の工夫、生徒の家庭学習等に関して)

年3回の授業力向上週間を年間計画に位置づけ、教員間の互見授業を通じた授業改善に力を入れました。年度後半に、1学年を中心にタブレットやclassiを活用した授業展開や家庭学習課題も取り入れ、生徒の理解を助け、主体性を引き出す方法の研究ができたことも、生徒、保護者からの高い評価につながったものと思われます。しかし、家庭学習の習慣化は本年度も三者共通の大きな課題となりました。特に、保護者、教員の生徒の家庭学習時間に対する危機意識は昨年比でも非常に高くなっており、その対策が急務です。3つの時間(勉強開始、就寝、起床)を固定することで生活リズムを整え、英語の予習、数学の復習を軸に家庭学習を進められるような体制を整える必要があります。何より、生徒自身の自発的な学びにつながる方策を、学校、家庭それぞれの立場、関わりの中で伝えていくことが大切と考えます。また、課題(宿題)の量、質に対して、生徒、教員の達成度が低くなっています。高校教育の質を保証しながら、学力層に応じた知的好奇心を引き出す内容を工夫していきます。

### II 進路目標の実現(進路目標、情報提供、進路指導等に関して)

生徒の達成度はすべての項目で昨年より向上し、進路意識の高まりを感じました。特に、学校からの進路情報の提供に対する評価が大きく向上した点は、進路指導部の各種取組や総合的な学習の時間、LHR、クラス掲示等での活動が機能しているものと思われます。しかし、同じ項目でも保護者の立場ではまだまだ不十分という結果も出ており、保護者に進路情報を確実かつ適切に発信できる体制づくりと手段を検討する必要があります。今後も生徒自身が自分の適性や進路選択の幅に気づく場面を多く設定し、生徒と保護者、学校と保護者のコミュニケーションを図りながら、生徒の進路目標実現に向けた取組を充実させていきます。また、現在本校では、進路の第一希望を決めただけで満足してしまう生徒が多く、目標を達成するための具体的な行動やその次のレベルに挑戦する姿勢が低いことが大きな課題となっています。生徒同士が互いに刺激し合い、切磋琢磨してより高みを目指す学び合いの集団となるよう、ガイダンスと個別指導が持つ機能を最大限に生かした進路指導を行っていきます。

### III 生徒指導および部活動(服装・頭髪、言葉遣い、部活動等に関して)

ここ数年本校の大きな課題であった教育相談体制の充実の項目において、生徒、保護者の評価が昨年比で大きく改善しました。SCを講師とした校内研修会、担任・教科担当者による教育相談週間、日常的な声かけ指導、定期的なアンケート実施による生徒のストレス耐性の把握、職員間の情報共有など、当たり前のことを職員一人一人が高い意識で継続できたことが大きな要因であると考えます。毎日の昼休みの巡回指導、校内いじめ防止対策委員会もしっかり機能しており、生徒が安心して学べる教育環境の整備を今後も進めたいと思います。その半面、保護者と教員の両方で、生徒の服装頭髪の乱れや言葉遣い、礼儀作法の改善を指摘する声が多くなりました。改善のためには周囲の大人が同じ基準を持ち、気づいた時に声に出して諭すことで、生徒自身にその時の言動の振り返りをさせなければなりません。生徒の変化に関心にならないよう、学校はもちろん、家庭と地域全体で継続的に生徒の心身のサポートをしていく必要があります。また、部活動を年度途中で転部するケースが少なからず見られ、関連する質問項目の達成度が低い状況が見られました。共通の目標達成のために苦楽を共にした体験を通し、互いの価値観を認め合うことで自分自身や集団の成長につなげられるような活動を心がけていきます。

### IV その他(整理整頓、生徒の学校生活等に関して)

保護者に関しては、どの質問項目においても85%以上が概ね満足しているとの高評価でした。一方、生徒に関しては学校生活に何らかの不安要素を感じている生徒が3割程度いることが分かり、その対応を急がなければなりません。特に、山村教育留学生は環境の変化や集団生活の中でさまざまな課題に直面する場面も多く、心身のバランスを崩しやすい傾向があるようです。そういった状況に配慮しながらの指導を進めていくのはもちろんですが、他者と折り合いをつけながら自力解決できるたくましさや、地域や周囲の人から与えられた環境を当たり前だと思わずに、感謝の気持ちをもって生活することの大切さも同時に伝えていかなければならないと考えます。

# 離任される先生方より

## ○猪俣 豊校長先生

県内外のモデルとなるほどの只見町の支援体制には大変感謝しております。今後進められる県立学校改革は明らかになっていませんが、町民の皆様の意見や願いをふまえた学校づくりをしていくことになると思います。特に、只見町の生徒が安心して学べる学校づくりには、より一層の地域との連携が必要になる面があります。どうぞ変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。2年間、大変お世話になりました。

## ○滝沢 日佐人先生

「生徒、地域が誇れる魅力ある学校にしたい！」只見高校での3年間、私が常に考え、仕事を進める原動力としてきた思いです。自分はその役割を果たせたのか、できることなのにやり残していることはないか、異動を前にした3月半ばになり、自問自答する日々が続きました。勤務校に対しこんなにも愛着を感じることができたのは只見高校、そして只見町の教育環境ならではのことだと思います。関係の皆様、本当にお世話になりました。只見高校の益々の発展を心よりお祈りいたします。

## ○太田 和花先生

只見高校には4年間大変お世話になりました。赴任前の2月に只見に来た時に白い雪の壁を見て、大きな不安を持ったのを鮮明に覚えています。しかし今では、只見を離れることが寂しいと思うくらい只見での生活を満喫することができました。この4年間は素直な生徒たちに囲まれ、多くのことを学び、たくさんの思い出を作ることができました。また、保護者の方々や町民の方々にも恵まれ、町内でお会いした際には気軽に声をかけていただき、お話ができたことをうれしく思います。多くの温かい方々に支えられ、充実した4年間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

## ○上野 彩香先生

2年間、生徒の皆さん、職場の先生方をはじめ、多くの素敵な出会いに恵まれました。また、只見町の豊かな自然や、仕事終わりに見る満天の星空には何度心癒され、励まされました。振り返ると、只見高校での全ての出来事に意味があったのだと感謝の気持ちで胸が一杯です。この幸せな気持ちを、新たな赴任先で出会う子ども達へ、愛情として注いでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。

## ○五十嵐 貴美子先生

この度の人事異動によりまして退職することになりました。皆様には長い間温かいご指導・ご支援をいただきまして、心より感謝申し上げます。大変、有意義な時間を過ごさせていただき本当にありがたく思っております。約7年前の豪雨災害の時には、多くの県内県外の方々、只見高校の先生方、生徒の皆さんに暑い中、被災した家の片付けの支援をしていただきましたことに、心より感謝しております。只見高校生の皆さん、これからも学習と部活を精一杯頑張ってください。そして、只見高校のますますのご発展を心よりお祈りいたします。

## ○田澤 好一事務長

3年間大変お世話になりました。奥会津での勤務は初めてでしたが、諸先生を始め、只見町関係者の皆様、町内地域の多くの方々に支えられながら楽しく仕事をする事が出来ました。新天地におきましても、只見町での貴重な生活を忘れることなく、只見町・只見高校の益々の発展をお祈りしています。

## ○関根 和生先生

只見に来て4年の月日が経ちました。只見という地は全国有数の豪雪地帯でとても寒いところですが、その分人の心が温かいところでした。生徒のみんなも素直で、元気に挨拶をしてくれる素晴らしい生徒でした。これだけ挨拶できることは、他の学校にはない只見高校の強みであり、誇りと自信を持ってほしいと思います。只見で出会った多くの方々のおかげで、かけがえない4年間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。遠くの地で、只見高校の益々のご発展をお祈りいたします。

## ○坂下 拓穂先生

私の只見での3年間は「野球」に尽きます。高校野球、草野球、ナイターソフトを通じて、たくさんの只見町の方々と交流させていただきました。「野球」に携われたからこそその出会いに本当に感謝しています。特に、只見高校野球部がこれまで以上に活躍することを心から願い、私にできる精一杯の取り組みをさせていただいたつもりです。終わってみると、もっと何かできたのではないかという思いもありますが、それらの思いは胸に秘めて、只見高校の明るい未来をこれからの若い力に託し、私は只見を去ります。本当にお世話になりました。

## ○長谷部 克則先生

本校で定年退職し、引き続き講師として二年間お世話になりました。素直で実直な生徒諸君、エネルギーで心優しい同僚のみなさん、本校を応援してくださる町民の方々。多くの人に支えられて、私も楽しく勤めさせていただきました。これからは、同窓生として、一町民として只見高校を応援していきたいと思っています。生徒諸君の活躍と只見高校の発展、皆様のご健勝を祈念いたします。